

山伝宝 妙経寺だより

令和二年暮れ号
(令和二年11月)

暮れのご挨拶

檀信徒のみならず、中には、妙経寺副住職の滝澤です。

今年も気が付けば師走が目の前、本当にあつという間に一年の終わりが近づいて参りました。

今年は何と言っても「新型コロナウイルス」による甚大な影響があった一年になってしまいました。今年もお感染拡大は続いており、この便りを書いている十一月二十三日時点では一日の感染者数が過去最高を連日記録する」という心配なニュースも出てしまっています。

新型コロナウイルスの影響により私たちの生活は本当に一変してしまいました。外食や旅行にも自由に行けず、普段の買い物ですらなるべく行かないで済むように気を付けて生活を強いられています。自由を奪われることがこれほどまでに窮屈な思いをするのかと感じている方も多いのではないのでしょうか。

「失って初めてありがた

さに気付く」と良くいいますが、正にその通りですね。

「健康」と同じで、それが当たり前の時は特にありがたさを感じませんが、体調を崩し自由に出歩けなくなり、食べたい物が食べられなくなつて初めて「健康」という宝物のありがたさを噛み締めます。失う前からありがたさを噛み締められればいいのですが、人間なかなかそうはいかないものです。

今回の新型コロナウイルスの感染拡大は、私たち「自由」と「健康」のありがたさを噛み締める良い機会なのかもしれません。

法華経の二十八番目のお経「普賢菩薩勸発品」の経文の中に「少欲知足」という箇所があります。

「欲を少なく保ち、足(た)るを知る」という意味です。

「欲を極限までそぎ落とすことが仏教の究極の教え」と思っている方もいるかもしれませんが、

んが、仏教の教えは「欲をコントロールすること」だと私は思います。欲を完全に無くしてしまつたら人間は生きていくことはできません。

より豊かな生活のため、家族のために一生懸命働くことや、人の役にたつことが好きといった「意欲」も、欲が原動力と言えらると思えます。しかし、一歩間違えると「欲張り」になつてしまふのが欲の怖いところなんです。

今回のコロナ騒動をきっかけに、普段の日常のありがたさを再確認する良い機会になるのではないのでしょうか。

いずれ騒動が収束した際に取り戻した普段の生活は、ありがたさが何倍にも感じられるはずなんです。

これから本格的な冬が到来します。皆さまくれぐれもお体ご自愛の上、新年を無事に迎えますよう。

少欲知足

お会式・身延大会のご報告

日蓮聖人の第七百三十九回目の遠忌に当たる今年のお会式ですが、コロナ禍の中ではあつたが十月十八日に無事に厳修することができましたのでご報告いたします。

お盆(お施餓鬼)の際は檀信徒各位には参拝をご遠慮いただきまして、お会式は参列の上お焼香をしていただくことができました。

また、例年四月に開催されている身延大会はコロナ禍の影響で延期となつておりましたが、十月六日・七日に靈断開催のみ参加という形で開催されました。

青梅正法聖徒団の代表として小島住職と二人で参加してきました。今年も無事に、身延山に団旗を掲揚していただくことができましたので、合わせてご報告いたします。



いのちに合掌

日蓮宗では、立正安国お題目結縁運動を展開しています。

お互いを敬い合い、命の尊さに気付き、社会を明るくすることが運動の目的です。

社会

日蓮聖人降誕800年

令和三年の年回忌のご案内について



例年、来年が年回忌に当たる方々へのご連絡を本紙(妙経寺便り(暮れ号))に同封してお送りしておりますが、今年からは、来年の一月、六月までが年回忌に当たる方々のみ本紙に同封してご連絡をいたしております。

来年の七月、十二月が年回忌に当たる方には、別途来年四月頃にご連絡いたします。

回忌	没年
一周忌	令和二年
三回忌	平成三十一年 令和元年
七回忌	平成二十七年
十三回忌	平成二十一年
十七回忌	平成十七年
二十三回忌	平成十一年
二十七回忌	平成七年
三十三回忌	平成元年
三十七回忌	昭和六十年
五十回忌	昭和四十七年



新年行事のご案内



金洗弁財天
「初金洗」
元旦特別祈禱
「初盛運祈願会」
一月一日午後二時〜

本紙を執筆している十一月下旬時点では、令和三年の元旦初参りは「実施する予定」でおります。今後のコロナ禍の状況次第で変更の可能性もありますが、その際はご連絡いたします。

「初金洗い」
お手持ちのお金を洗い清めて福徳をいただきます。
お授けする「福寿種銭」は、預金や通帳など大切な財産と一緒に保管して下さい。財産を浄化します。
前年までの古い種銭は、またお清めしますのでお寺にお納め下さい。
「初盛運祈願会」
皆さまの一年のご多幸をお祈りします。また、お申し込みいただいた木札の特別祈願を行い、木札の授与を致します。
コロナ禍の影響でお寺での飲食はできませんが、どうぞお供物をお持ち帰り下さい。



荒行堂団体参拝
中止のお知らせ

コロナ禍の影響にて、今年度の荒行は中止となっておりますので、団体参拝も中止となります。

「小さなお墓」納骨位牌のご案内

「この数年で「墓じまい」という言葉をよく聞くようになったりしましたが、時代の流れの中でお墓を持ちたくないと考え人が増えてきている状況の中で、当山としては従来の「お墓」を大事に守っていきたいと考える一方で、これからの時代のお墓として「納骨位牌」という小さなお墓を始めました。
これは一見、普通のお位牌ですが、位牌の台座部分に少量のご遺骨が入る小さな骨壺が格納されており、故人のご遺骨を納めたお位牌を本堂奥に安置する形になります。
本堂の中に安置しますので掃除も行き届き、毎朝のお勤めの中でご供養もでき、まや保育園の子どもたちの元気な声もよく聞こえますので、安らかでありながら明るい環境で眠っていただけると思っています。
ご興味がある方はお寺までお問合せ下さい。



令和三年（2021年）厄年早見表

前厄	本厄	後厄
1998年 平成10年生 (24歳) とら	1997年 平成9年生 (25歳) うし	1996年 平成8年生 (26歳) ねずみ
1981年 昭和56年生 (41歳) とり	1980年 昭和55年生 (42歳) さる	1979年 昭和54年生 (43歳) ひつじ
1962年 昭和37年生 (60歳) とら	1961年 昭和36年生 (61歳) うし	1960年 昭和35年生 (62歳) ねずみ

男性

前厄	本厄	後厄
2004年 平成16年生 (18歳) さる	2003年 平成15年生 (19歳) ひつじ	2002年 平成14年生 (20歳) うま
1990年 平成2年生 (32歳) うま	1989年 平成元年生 (33歳) へび	1988年 昭和63年生 (34歳) たつ
1986年 昭和61年生 (36歳) とら	1985年 昭和60年生 (37歳) うし	1984年 昭和59年生 (38歳) ねずみ
1962年 昭和37年生 (60歳) とら	1961年 昭和36年生 (61歳) うし	1960年 昭和35年生 (62歳) ねずみ

女性

全国結集身延大会

令和二年の身延大会はコロナ禍の中で日程が大幅にずれ込み、また靈断師のみの参加という形となつてしまいました。
毎年かかさず参加されていた方にとってはとても残念であったかと思えます。
来年はどうなるかまだ未定ですが、決まり次第みなさんにご連絡いたします。



令和三年年中行事のご案内

一月一日（金）
新年初祈禱・初金洗い・初盛運祈願会 午後二時〜

一月中旬の荒行堂団体参拝は中止です

三月一日（月）
稲荷大祭 午後二時〜

四月中旬の全国結集身延大会は未定です

六月一日（火）
おみがき 午後一時〜

七月三日（土）
施餓鬼大法要 午後一時〜

七月二十八日（水）
土用の丑 ほうろく灸 午前九時〜十一時

十月十八日（月）
宗祖報恩御会式 午後一時〜

十二月一日（水）
おみがき 午後一時〜

十二月十八日（土）
釜（幣束お衣替え）午後二時〜

【月例行事】

毎月一日 盛運祈願会 午後二時〜
十八日 報恩感謝会 午前八時半〜